

白眼鵲

寛政の江もやどる

周防岩志堂を氏

ある人の許をも

毛髪風年費にせし奇多かり

備後島のも金某かよふ派とて振るも出づもかく

武陽の市小る金日納といふ又其後文政十年

夏の六月河野内の稲多由宇おそく九月相なり

